

# アタカマ砂漠

## —世界—乾燥した砂漠—



チリ北部にある「アタカマ砂漠」は南北1000 kmに広がる巨大な砂漠で、アフリカの「サハラ砂漠」、中国の「ゴビ砂漠」と並ぶ世界三大砂漠の一つです。アンデス山脈と太平洋との間にあり、湿った空気が流れ込まないので、世界で最も乾燥している砂漠として知られています。

とても乾燥しています！

日本からだいたい

40時間！



日本

アタカマ砂漠

首都サンティアゴ

南米



「アタカマ砂漠」に何があるか見てみましょう！

### 「San Pedro de Atacama

#### (サン・ペドロ・デ・アタカマ)」

1540年に作られたチリの最も古い町です。砂漠の中のオアシスとも呼ばれていて、歩いても数時間で見て回れるとても小さな町です。町はこじんまりした日干レンガ造りの家々が並んでいて、昔からの懐かしい雰囲気があります。

### 「Pueblo Machuca

#### (マチューカ村)」

「Vicuña(ビクーニャ)」は

アンデス山脈の標高4000～6000mに生息するラクダ科の動物です。高地の厳しい寒さ

から身を守るために、細く柔らかな毛を持っています！

標高約4000mの高さにあり、人口はわずか10人です。

